

情 報 公 開 文 書

研究の名称	富山県ドクターヘリにおけるランデブーポイント活用実態および地域特性に関する観察研究
研究代表機関	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・職名および氏名)	富山大学 学術研究部医学系 北越地域医療人養成センター 特命助教 清水 光治
①試料・情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	この研究は富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認および研究機関の長の許可を受けて実施しています。 【研究の目的・方法】 富山県ドクターヘリは、救急隊が医師による早期診療が必要と判断した救急事案に出動し、医師・看護師が早期に傷病者へ接触して診療を開始する病院前救急医療システムです。ドクターヘリの運用では、救急車とドクターヘリが安全かつ効率的に合流する場所であるランデブーポイント（以下、RP）の設定と活用が重要です。 本研究では、2015 年 8 月 24 日から 2026 年 3 月 31 日までに富山県ドクターヘリが要請または出動した救急事案について、既存のドクターヘリ活動記録、ドクターヘリレジストリーデータ、搬送・診療記録などを収集します。また、行政機関等が公表する人口、地理、道路、医療機関・消防署の配置等の情報を利用します。 富山県立中央病院が保有する情報は、氏名、住所、電話番号などを除き、研究用の番号を付けたうえで富山大学へ提供されます。富山大学では、RP ごとの使用回数、地域ごとの出動傾向、要請から傷病者接触・病院到着までの時間、傷病者の重症度・緊急度、搬送先、転帰などを集計・解析します。さらに、地理情報システム（GIS）を用いて、RP の位置や使用状況を人口分布、道路、地形、医療機関・消防署の配置などと重ね合わせて可視化します。 この研究により、富山県におけるドクターヘリの運用実態と地域特性を明らかにし、今後の RP 配置や運用、ドクターヘリ要請の判断、搬送先選定、地域救急医療体制の改善に役立つ知見を得ることを目的としています。 【研究期間】 実施許可日 ～ 2031 年 3 月 31 日 【研究対象者】 選択基準 2015 年 8 月 24 日から 2026 年 3 月 31 日までの期間に、富山県ドクターヘリが要請または出動した救急事案に含まれる傷病者を対象とします。年

	齢による制限は設けず、未成年者を含む全年齢の傷病者を対象とします。未成年者または意思能力を欠く研究対象者については、代諾者からの研究利用拒否の申出も受け付けます。 解析単位は、原則としてドクターヘリ要請または出動 1 件とします。同一傷病者が複数回対象期間内にドクターヘリ要請または出動の対象となった場合は、それぞれを独立した事案として扱います。 除外基準 ・ 研究対象者または代諾者から研究利用拒否の申し出があり、解析用データから除外可能な事案 ・ 研究に必要な最小限の活動情報が取得できない事案 ・ 重複登録が確認され、同一事案として統合できない事案 ・ データ提供機関から研究利用の許可が得られない事案 【研究資金、利益相反の状況】 本研究には、富山大学 学術研究部医学系 北越地域医療人養成センターおよび救急医学講座の研究費・講座費を使用します。本研究に関係する企業等から資金、資材、労務の提供を受ける予定はなく、申告すべき利益相反はありません。 【個人情報の取扱い】 この研究では、氏名、住所、電話番号など、個人を直接識別できる情報は解析用データに含めません。診療録 ID や活動記録番号などを用いて情報を照合する必要がある場合は、研究用識別番号を付け、対照表は解析用データとは別に厳重に管理します。富山県立中央病院から富山大学へは、個人を直接識別できないように加工した情報を提供します。収集した情報は、パスワード等によりアクセス制限された富山大学管理下のパソコンまたは学内ネットワーク内の保存領域で保管し、研究に関係する者のみが取り扱います。研究成果を公表する際は、個人や特定の傷病者が分からないように集計し、地域や RP に関する結果についても、特定の方が推定されないよう配慮します。 【研究結果の公表の方法】 研究結果は、国内外の学会、専門誌、研究報告書、教育資料等で公表する予定です。公表に際しては、個人を特定できない形で行います。 【試料・情報の他機関への提供有無】 無 【外国にある者への提供について】 該当なし
--	---

②利用又は提供する試料・情報の項目	【試料・情報の項目】 本研究では試料を用いません。富山県立中央病院が保有する既存の診療情報、ドクターヘリ活動記録、ドクターヘリレジストリーデータ等、および行政機関等が公表する行政・地域情報を用います。主な情報項目は以下のとおりです。 ・傷病者基本情報：年齢、性別、居住市町村または都道府県、発生市町村、二次医療圏 ・活動基本情報：発生日、発生時刻、覚知時刻、要請時刻、出動時刻、基地離陸時刻、現場到着時刻、傷病者接触時刻、現場離脱時刻、病院到着時刻、医師引継時刻 ・ドクターヘリ運用情報：出動種別、要請理由、要請キーワード、出動可否、キャンセルの有無・理由、天候による影響、運航範囲、搭乗スタッフ、使用機体 ・RP 情報：RP 名称、RP 番号、所在地市町村、緯度、経度、施設種別、使用回数、最寄り消防署、基地病院・救命救急センター・主要道路からの距離 ・搬送・医療情報：搬送元、搬送先医療機関、搬送方法、傷病名、疾病分類、外傷分類、初期バイタルサイン、重症度区分、緊急度区分、病院前処置、医師接触後処置 ・転帰情報：救急外来での転帰、入院の有無、入院日数、転院の有無、退院時転帰 ・行政・地域情報：市町村別人口、高齢化率、人口密度、昼夜間人口、医療機関配置、消防署配置、道路網、標高、山間部・沿岸部区分、災害発生状況 各データベースに存在しない項目は欠測として扱い、利用可能な情報の範囲を明確にしたうえで解析します。
③利用又は提供を開始する予定日	【利用又は提供を開始する予定日】 富山大学における研究実施許可日以降
④試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	富山県立中央病院 病院長 加治 正英
⑤提供する試料・情報の取得の方法	富山県立中央病院が保有する既存のドクターヘリ活動記録、ドクターヘリレジストリーデータ、搬送・診療記録等から、研究に必要な情報を抽出します。 氏名、住所、電話番号等の直接識別子は除外し、他の情報と照合しなければ個人を識別できないよう加工措置を行い、研究用識別番号を付与します。 行政・地域情報については、行政機関等が公表する情報を利用します。
⑥利用する者の範囲	本研究で情報を利用する者の範囲は、以下のとおりです。 ・富山大学 学術研究部医学系 北越地域医療人養成センター 特命助教

	清水 光治（研究責任者） ・富山大学 学術研究部医学系 救急医学講座 教授 土井 智章 ・富山大学附属病院 救急科 助教 瀧上 貴正 ・富山大学 医学科 学生 小松 琉晏 ・富山県立中央病院 救急科 部長 若杉 雅浩（共同研究機関研究責任者） ・富山県立中央病院 救急科 部長 松井 恒太郎（共同研究者）
⑦試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	富山大学附属病院長 山本 善裕
⑧研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止する旨	本研究に関する情報公開文書は、富山大学附属病院および富山県立中央病院のホームページに掲載します。 研究対象者本人または代諾者が、研究対象者に関する情報を本研究に用いること（他の研究機関への提供を含みます。）を希望されない場合、または研究資料（研究計画書および研究方法に関する資料）を、他の研究対象者等の個人情報および知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧することを希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。 電話番号：076-434-7148 FAX：076-434-5143 E-mail：shimizuk@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名：富山大学 学術研究部医学系 北越地域医療人養成センター 特命助教 清水 光治